

豊田市議会自民クラブ議員団

「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」

に対する回答

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 土地利用構想の実現に向けた拠点における戦略的土地利用の推進 【要望内容】 ① 超高齢社会と人口減少の到来に備え、また自動車産業への大変革の動向を見据え、活力ある都市として持続的な成長を実現するため、都市基盤を生かした居住や産業等戦略的な土地利用を推進するための予算を確保すること。	・土地利用構想の実現に向けた戦略的土地利用を推進するため、住宅供給施策については、「第３次豊田市住宅マスタープラン」に基づき、居住誘導拠点におけるまちづくりに必要な調査等を進めていく。 ・産業用地施策については、産業用地整備の基本方針に基づき、産業誘導拠点における計画的な産業用地整備の事業展開に必要な調査及び周辺道路整備等を進めていく。 （企画政策部 土地利用調整課、産業部 産業労働課、建設部 土木課 都市整備部 定住促進課、市街地整備課、区画整理支援課）	・土地利用対策調整費 （１０百万円） ・土橋土地区画整理事業負担金 （１００百万円） ・土橋土地区画整理事業繰出金 （１０７百万円） ・寺部土地区画整理事業繰出金 （１２百万円） ・花園土地区画整理事業負担金 （５８０百万円） ・花園土地区画整理事業繰出金 （５６６百万円） ・八草駅周辺土地利用調査費 （１４百万円） ・上豊田駅周辺土地利用調査費 （１２百万円） ・若林駅周辺土地区画整理調査費 （１６百万円） ・豊田東インターチェンジ周辺地区産業用地造成事業繰出金 （２２百万円） ・市道改良費 １ （３５０百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 山村地域の人口確保をするための地域資源を活用したまちづくりの推進。山村条例に沿ったおいでん・さんそんプランの積極推進 【要望内容】 ① 山村地域の振興に向けて新たに策定する「(仮称)山村振興条例」及び、令和３年３月に策定した「おいでん・さんそんプラン」を推進していくため、多様な主体との共働により、山村地域の魅力・資源を活用した移住・定住や教育の推進、交流・関係人口の拡大に向けた取組に必要な予算を確保すること。	・持続的な山村地域づくりに係る基本的な考え方については、条例で示しつつ、具体的な取組は、「おいでん・さんそんプラン」を中心に関係する主体と共働により推進していく。 ・山村地域の移住・定住の推進にあたっては、空き家等を活用した住まいの確保や特色を生かした教育の推進など地域と共働で進めていく。また、人口減少及び高齢化を踏まえ、都市部の企業や団体等が地域と継続的に関わる交流機会を創出し、関係人口づくりを進めていく。 (企画政策部 企画課、教育部 教育政策課、産業部 農政企画課、都市整備部 定住促進課、地域振興部 地域支援課及び関係支所)	・住宅取得費補助金（５５百万円） ・定住促進費（１百万円） ・雇用定住促進費（２百万円） ・山村地域等空き家再生事業補助金（２５百万円） ・空き家情報バンク登録促進事業補助金（３百万円） ・山村地域等空き家活用支援起業支援事業補助金（１百万円） ・２戸２戸作戦推進費（１０百万円） ・宅地造成費／小原町地区造成費（８百万円） ・グリーンツーリズム推進費補助金（３百万円） ・農商工連携促進費（１百万円） ・６次産業化促進費（２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和4年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和4年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 山村地域の人口確保をするための地域資源を活用したまちづくりの推進。山村条例に沿ったおいでん・さんそんプランの積極推進 【要望内容】 ② 山村振興及び都市との共生に関する基本計画である、おいでん・さんそんプランの推進を積極的に行い、空き家・空き地の活用、小学校区定住計画、足助高校の魅力化、通信制教育の検討、都市との交流、多様な働き方実現などの各種取組ができるように研究、実証の予算を確保すること。	・「おいでん・さんそんプラン」の5つの取組方針を基本に、総合的かつ計画的に施策を推進していく。また、「空き家を活用した移住促進」、「高等学校の魅力化」、「都市と山村の交流を通じた関係人口の創出・育成」、「多様な働き方の実現」を重点取組として位置付け、持続的な山村地域づくりに向けた研究や実証などの取組を進めていく。 （企画政策部 企画課、都市整備部 定住促進課、教育部 教育政策課、地域振興部 地域支援課及び関係支所）	・ 交流コーディネート事業費 （39百万円） ・ 都市と山村の共生推進費 （2百万円） ・ 住宅取得費補助金（55百万円） ・ 定住促進費（1百万円） ・ 雇用定住促進費（2百万円） ・ 山村地域等空き家再生事業補助金 （25百万円） ・ 空き家情報バンク登録促進事業補助金 （3百万円） ・ 山村地域等空き家活用支援起業支援事業補助金（1百万円） ・ 2戸2戸作戦推進費（10百万円） ・ 宅地造成費／小原町地区造成費 （8百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 SDGｓ未来都市に向けた取組推進と重点施策新エネルギー・次世代モビリティの普及促進 【要望内容】 ① SDGｓの情報発信を強化し、更なる市民意識の向上、SDGsパートナーや協議会との連携を図り、加速化されるように予算を確保すること。	・SDGｓの情報発信拠点であるとよたエコフルタウンを活用しながら、各種イベントやオンラインセミナー等を継続的に実施する。 ・「豊田市つながる社会実証推進協議会」、「とよたSDGｓパートナー」に登録された企業・団体等との連携やマッチング等を図りながら、SDGｓの達成、持続可能なまちの実現に向けた取組や活動を推進していく。 ・取組の加速化を図るため、とよたSDGｓパートナー認証制度の検討や「SDGｓ理解促進ツール」の制作を行う。 （企画政策部 未来都市推進課）	・未来都市推進事務費 （１３百万円） ・低炭素社会モデル地区推進費 （１２７百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 SDGｓ未来都市に向けた取組推進と重点施策新エネルギー・次世代モビリティの普及促進 【要望内容】 ② 新エネルギー・次世代モビリティの普及促進に向け、事業の取組が加速化するように予算を確保すること。	・「豊田市つながる社会実証推進協議会」等のプラットフォームを活用し、関係企業との連携を推進することで、エネルギー地産地消や先進移動技術実証の推進を図る。 ・環境性能に優れた次世代自動車の普及拡大に向け、プラグインハイブリッド車、電気自動車及び燃料電池車（ＦＣＶ）の車両購入費補助や充電設備の導入補助を継続する。 ・また、次世代自動車の外部給電機能を活用して災害時の非常用電源を確保するため、ハイブリッド車に後付けで設置できる外部給電装置や、クルマで発電した電力を住宅内の特定回路に供給できる装置に対して補助制度を継続する。加えて、ＳＡＫＵＲＡプロジェクトの活動を通じて、自動車販売店等と連携しながら次世代自動車の有用性を啓発する。 （企画政策部 未来都市推進課、環境部 環境政策課）	・次世代自動車普及促進費補助金（２９百万円） ・事業者向次世代自動車普及促進費補助金（９百万円） ・次世代自動車普及促進費（１百万円） ・次世代エネルギーシステム推進費（３４百万円） ・次世代自動車普及促進事業費（５百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 デジタル技術を活用した効率的、効果的な質の高い行政運営の推進 【要望内容】 ① デジタル強靱化戦略に基づき、質の高い行政運営を推進する。「スマート窓口」「AI相談窓口」については、デジタル手続の視点を踏まえて、研究、実証に取り組み、早期実現に向けて予算を確保すること。さらに、これら取組を支える「AI・RPA等システム導入及びメンテを行い内部事務の効率化」については、全庁一体的に推進する予算を引き続き確保すること。	・「豊田市デジタル強靱化戦略」の重点施策に位置付けている「スマート窓口」「AI相談窓口」については、関係課と連携を図り継続して取り組んでいく。「スマート窓口」については、市民課を中心として「行かない・書かない・待たない窓口」の実現に向けて取り組んでいく。「AI相談窓口」については、福祉総合相談課・子ども家庭課・民間企業と継続して共同研究に取り組んでいく予定である。 ・既に導入しているAIチャットボット、AI-OCR、AI議事録、あいち電子申請届出システム、RPAの活用促進を図り、内部事務の効率化を全庁一体的に推進していく。 （経営戦略部 情報戦略課）	・デジタル化・スマート化推進費 (21百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 デジタル技術を活用した効率的、効果的な質の高い行政運営の推進 【要望内容】 ② デジタル強靱化戦略の各種取組は、今後の本市のデジタル化を加速させるものである。特にデータの利活用は、デジタル化を支えるもので、積極的かつ戦略的な取組を進め、将来を見据えた取組が実施できるよう予算を確保すること。	・「豊田市デジタル強靱化戦略」に位置付けているオープンデータ等の活用については、令和３年度及び４年度において重点的に取り組んでいく全庁取組方針の一つとしている。 ・全庁取組方針の位置付けに伴い見直しを行った「豊田市オープンデータガイドライン」の整備やデータ分析ツールの導入等により、本市のデータ利活用を積極的かつ戦略的に進める環境を整えるとともに、データを活用した地域課題の解決などの取組を進めていく。 （経営戦略部 情報戦略課）	・次世代通信網・データ活用推進費（３百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 時代に即したコンピュータシステムの効果的利用の推進と情報セキュリティの維持向上 【要望内容】 ① 今後自治体においても利活用が進むことが想定されるクラウドサービス等の新たな技術の導入を見据え、効率性、利便性、安全性の高いシステム基盤の整備（システム導入やメンテナンス）が必要であり、そのための予算を確保すること。	・セキュリティに配慮した上で、これまで別であった業務系ＬＡＮとインターネット系ＬＡＮを統合し、コンピュータネットワークの再構築を実施する。これにより、業務用パソコンでインターネットを利用することも可能となり、効率性、利便性を向上させるとともに、クラウドサービス等の導入の促進を図る。 （総務部 情報システム課）	・情報システム基盤費（うち、機器整備費・ネットワーク費） （５４０百万円） ・情報セキュリティ推進費 （１９３百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 時代に即したコンピュータシステムの効果的利用の推進と情報セキュリティの維持向上 【要望内容】 ② テレワークやオンライン会議など多様化する業務形態や巧妙化するサイバー攻撃等に対応するため、時代に即した情報セキュリティ対策に必要な予算を確保すること。	・各パソコンの稼働状況や通信内容などを監視し、不審な挙動やサイバー攻撃を察知するセキュリティソフトや、パソコンのデスクトップ画面上にファイルを保存できないようにするセキュリティソフトを新たに導入するなど、重層的なセキュリティ対策の仕組みを構築する。 (総務部 情報システム課)	・情報セキュリティ推進費 (１９３百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 スマート窓口「行かない・書かない・待たない」とマイナンバー制度の更なる取組 【要望内容】 ① 市民の利便性の向上や、職員の働き方改革にもつながるスマート窓口を早期に実現するための研究と検証を進め、ＩＣＴ機器導入などの予算を確保すること。	・スマート窓口については、「豊田市デジタル強靱化戦略」の重点施策に位置付けており、全庁で検討・具体化していく際の指針を示しつつ、市民課において具体的な検討を進め、導入に向け取り組んでいく。 (経営戦略部 情報戦略課) ・市民課窓口業務において、市民の利便性の向上と事務処理の効率化を目的に、申請書作成や異動情報入力を自動化するタブレット端末等を使用した「(仮称) 窓口支援システム」を構築する。導入時期は、国の進める「転出・転入手続のワンストップ化」開始後を予定する。 (市民部 市民課)	・デジタル強靱化戦略によるスマート窓口構築費 (６３百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 スマート窓口「行かない・書かない・待たない」とマイナンバー制度の更なる取組 【要望内容】 ② マイナンバーカードは行政手続のデジタル化の基盤であるため、国の方針である令和４年度末までにほとんどの住民がマイナンバーカードを保有することを目指して、各支所での手続や企業での手続支援を行い、交付を促進するための予算を確保すること。	・支所・出張所においてマイナンバーカード出張申請窓口を開設するとともに、出前講座などで市民グループ、企業、施設等に出向き、マイナンバーカード申請手続の支援を行っていく。 （市民部 市民課）	・ 個人番号カード交付事務費 （９９百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【企画総務部会】 【要望事項】 国民健康保険制度の安定的運営に必要な財政対応 【要望内容】 ① 国民健康保険は、制度改正などにより税率引上げを検討せざるを得ない状況が続いているが、セーフティネットとしての役割やコロナ禍の影響を考慮し、急激な税率引上げを避ける本市独自の激変緩和措置の継続と未就学児に係る均等割額の軽減開始に必要な予算を確保すること。	・国民健康保険のセーフティネットとしての役割を考慮し、短期間での大幅な税率の引き上げを避けるための市独自の激変緩和措置の財源として、引き続き、一般会計から国民健康保険事業財政調整基金へ適切な時期に必要な額を積み立て、活用していく。 ・未就学児に係る均等割額の軽減に必要な財源については、政省令の改正により、その全額を一般会計からの法定繰入れにて対応する。 (市民部 国保年金課)	・国民健康保険事業財政調整基金繰入金 (1,396百万円) ・保険基盤安定繰入金（未就学児軽減分） (18百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ① 過疎化対策として山村地域における支所機能の強化を図るための予算を確保すること。	・山村地域の移住定住促進のため、空き家・空き地情報バンクや２戸２戸作戦宅地分譲事業に、関係者の協力を得ながら取り組んでいく。 ・また、国県の交付金・補助金を活用して、空き家の改修に関する補助制度を拡充し、移住定住者拡大に取り組んでいく。 ・各支所においては、空き家の適正管理や移住後のフォローなど各地域の特性に合わせた移住定住施策に取り組んでいく。 (地域振興部 地域支援課及び関係支所)	・定住促進費 (１百万円) ・山村地域等空き家再生事業補助金 (２５百万円) ・空き家情報バンク登録促進事業補助金 (３百万円) ・山村地域等空き家活用支援起業支援事業補助金 (１百万円) ・２戸２戸作戦推進費(１０百万円) ・宅地造成費／小原町地区造成費 (８百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ② 民間業界と連携し、空き家や空き地の発掘や積極的な活用を図る等、移住・定住施策予算を確保すること。	・「豊田市空き家等対策計画」に基づき、既存の補助制度の推進や利活用に係る制度の拡充を進めていく。 ・空き家・空き地情報バンク、２戸２戸作戦宅地分譲事業等を活用し、愛知県宅地建物取引業協会豊田支部と連携して、定住施策に取り組んでいく。 ・また、空き家を使って起業する者に対し、金融機関や商工会等と連携して、事業実施に係る包括的支援を実施していく。 ・山村地域の支所に設けた、住宅地確保を目的とした農地活用に関する相談窓口の運営に、愛知県行政書士会豊田支部と連携して取り組んでいく。 （都市整備部 定住促進課、地域振興部 地域支援課及び関係支所）	・建築安全対策事務費（１百万円） ・住宅取得費補助金（５５百万円） ・住まい相談総合支援事業費（１百万円） ・老朽空き家等解体費補助金（２百万円） ・定住促進費（１百万円） ・山村地域等空き家再生事業補助金（２５百万円） ・空き家情報バンク登録促進事業補助金（３百万円） ・山村地域等空き家活用支援起業支援事業補助金（１百万円） ・２戸２戸作戦推進費（１０百万円） ・宅地造成費／小原町地区造成費（８百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ③ アフターコロナを見据えたインバウンド推進のため国内外への情報発信や集客・受入を推進するための予算及び観光資源や地域特性を活用した取組を推進するための予算を確保すること。	・アフターコロナにおける海外からの誘客を見据え、（一社）ツーリズムとよたの公式ホームページ・SNSや、メールマガジン等を活用したデジタルプロモーションを外国人旅行者、現地メディア、旅行会社等へ展開するとともに、レップによる営業代行により各国における本市の観光の認知及び興味関心を高めていく。 ・また、（一社）ツーリズムとよた、各地区観光協会、観光関係者と連携し、地域の観光資源を生かし、「歴史」「自然」「体験」等、消費者の趣味・嗜好に合わせた商品の造成やプロモーションを進めていく。 (産業部 商業観光課) ・マイクロツーリズムの需要を踏まえ、集客に向けた情報発信を行っていく。また、足助地域核エリア再生事業において、事業の担い手となる人材の発掘育成を行い、観光資源や遊休不動産などの地域資源を活用した民間主導の事業創出の推進と、香嵐渓１００年プロジェクトにおいて、観光資源の新たな魅力の創出や景観の向上に向けた取組を行う。 (地域振興部 足助支所) (次ページへ続く)	・ツーリズムとよた補助金（定額） (１１３百万円) ・来訪者受入環境推進費／観光地魅力向上推進費 (９百万円) ・観光プロモーション費 (４百万円) ・観光まちづくり事業推進費 (１５百万円) ・香嵐渓費／再整備費（８百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
	・道の駅どんぐりの里いなぶの再整備を行い、豊田市産品の販売拡充、地産地消の商品開発及び道の駅を中心とした周遊性を確保するための観光資源の充実に努める。 (地域振興部 稲武支所) ・小原観光協会が行う「豊田小原和紙」や「四季桜」など地域資源を活用した商品開発・体験事業などの支援を行い、インバウンドの受け入れ体制の構築に努める。 (地域振興部 小原支所)	・どんぐりの里費／再整備費 (６４百万円) ・地域活動推進費／地域観光協会補助金（定額）（２１百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 地域特性を生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ④ 地域住民、特に高齢者の移動手段である地域バスの更なる充実と生活道路等の整備予算を確保すること。	・ 地域バスに関しては、運転手不足、運行経費の高騰、運賃収入の減少など様々な課題を抱えているため、利用状況や移動需要など地域特性等を考慮しつつ、タクシーや地域住民による共助的移動サービスなど、様々な移動手段を組み合わせ、高齢者の移動を支援する仕組みづくりに取り組んでいく。 (都市整備部 交通政策課、地域振興部 地域支援課及び関係支所) ・ 生活道路等の整備については、生活環境の向上に向けた道路拡幅や視距改良など、必要性や緊急性を考慮し、取り組んでいく。 (建設部 土木課、地域建設課)	・ 地域バス運行費 (４９０百万円) ・ 後退用地整備費（１６１百万円） ・ 位置指定道路整備費（５百万円） ・ 市道新設費（７４百万円） ・ 歩道設置費（３７９百万円） ・ 市道改良費１（３５０百万円） ・ 市道改良費２（３４７百万円） ・ 法定外道路改良費（２７百万円） ・ 市道舗装費（６百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ① 南海トラフ地震の被害予測結果や風水害などの実績を踏まえ、豊田市に特化した防災・減災対策に係る予算や情報伝達機能の強化を図るために必要な予算を確保すること。	【計画の策定等に関すること】 - 平成２８年度に策定・公表した、今後の災害対策を進めるための行動計画である「災害対策推進計画」について令和２年度に災害状況や社会状況の変化等を踏まえて中間見直しを行った。中間見直し後も進捗管理を毎年継続して実施していく。 (地域振興部 防災対策課) 【耐震化に関すること】 - 橋りょうについては、平成８年道路橋示方書より古い基準で設計された橋長１５ｍ以上の橋りょうのうち、緊急輸送道路等を跨ぐ重要橋りょうに対し、優先順位を付け計画的に耐震対策を進めていく。 (建設部 道路予防保全課) - 倒壊の危険性の高い、昭和５６年以前に建てられた建築物については、今後も耐震診断や耐震改修等補助事業を積極的に進めていく。 (都市整備部 建築相談課) (次ページへ続く)	- 橋りょう耐震対策費（１百万円） - 耐震診断費（８百万円） - 耐震補強工事費等補助金（３２百万円） - 民間非木造建築物耐震化補助金（８百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
	【風水害に関すること】 ・ 想定最大規模降雨に対応した避難場所対策として、水害被害予測調査による避難方針案を踏まえ、風水害時における避難場所等の拡充を図っていく。 ・ 近年の浸水被害状況を基に、市管理の河川に入る排水路に設置した水位計を活用するなどにより、迅速、的確な避難行動に繋げていく。 (地域振興部 防災対策課) ・ 東海豪雨による浸水実績や豊田市総合雨水対策マスタープラン等に基づき、順次、河川改修や雨水貯留施設の整備を進めていく。 ・ また、矢作川をはじめ流域ごとに策定された流域治水プロジェクトに基づき、国、県、市で連携し、流域全体で防災減災対策に取り組んでいく。 (建設部 河川課) (次ページへ続く)	・ 矢作川改修促進費（９３百万円） ・ 河川改良費（５２１百万円） ・ 流域貯留施設整備費 (９０百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和4年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
	【避難所・避難行動・啓発に関すること】 ・災害時の情報伝達機能の強化を図るため、緊急メールとよたへの登録促進も図りつつ、引き続き防災ラジオの販売及び申込みの受付を行う。 ・防災啓発・防災教育のほか、多様な情報伝達手段を展開し、市民の自助の取組を促進するとともに、避難所運営に向けた地域での体制協議や実動訓練を始めとする自主防災活動の支援を通じて、共助の取組促進に一層力を入れていく。 ・近年の災害の教訓や社会情勢などを踏まえて、必要な災害用備蓄物資の充実・見直しを図っていく。 （地域振興部 防災対策課） ・要配慮者対策として、地域支援者を始めとした住民に対する「避難行動要支援者名簿制度」の周知等により、引き続き要配慮者の支援体制強化を図っていく。 （福祉部 福祉総合相談課）	・災害時情報通信設備整備費 （３７百万円） ・防災設備維持管理費 （１８百万円） ・防災啓発費 （１６百万円） ・自主防災育成費 （４百万円） ・自主防災事業補助金（各支所合計） （１８百万円） ・避難者対策費 （１９百万円） ・避難行動要支援者対策費 （４百万円）
	（次ページへ続く）	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
	【上下水道事業に関すること】 (上下水道局共通) ・災害に備えた飲料水備蓄の重要性を、広報紙や各種イベント、地域の防災訓練等を通じて引き続き啓発し、市民の防災意識の向上を図っていく。 ・市民への緊急情報などの提供手段として、上下水道局独自の緊急メールとよたや市ホームページを積極的に活用していく。 ・河川氾濫等の災害時においても、一定の上下水道機能を確保するため、「豊田市上下水道施設耐水化計画」を令和３年度に策定し、優先順位に基づき、洪水により機能停止するリスクが確認された施設の耐水化に向け必要な対策を行っていく。 (上下水道局 総務課、企画課) (次ページへ続く)	・ペットボトル水製造委託 (６百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
	(水道事業) ・「豊田市新水道耐震化プラン」に基づき、以下の取組を行っていく。 ・主要な配水場などの水道施設を結ぶ基幹管路を強化するとともに、引き続き医療機関等の重要給水施設への管路を優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・主要水道施設の耐震診断を実施するとともに、耐震性を有していない施設においては、耐震補強や更新を実施していく。 ・自然災害により大規模な断水が発生した場合、市民に飲料水を速やかに提供するため、既存の災害拠点給水施設の改修を行うとともに、必要に応じて飲料用循環式耐震性貯水槽を設置していく。 ・近年頻発する風水害による河川の濁水対策や取水不良対策、異常気象による渇水対策として、自己水の安定的な確保に努めていく。 (上下水道局 企画課、水道整備課、上水運用センター) (下水道事業) ・近年、頻発する集中豪雨による降雨被害を鑑み、気候変動の影響を踏まえた都市浸水対策の基本計画である「豊田市雨水管理総合計画」の見直しを行っていく。 ・公共下水道管路の耐震化は、国の防災・安全交付金制度等を活用し「豊田市下水道総合地震対策計画」に基づき、着実に実施していく。 (上下水道局 企画課、下水道建設課)	・管路耐震化事業（４７３百万円） ・施設耐震化事業（６８３百万円） ・飲料用循環式耐震性貯水槽設置工事（２４百万円） ・災害拠点給水施設改修（４０百万円） ・取水施設改良（７４百万円） ・豊田市雨水管理総合計画変更等業務委託（４０百万円） ・中部３号ほか雨水幹線耐震補強工事（４２５百万円） 【参考事項】国の補正予算に伴う令和３年度対応予算 ・中部１号雨水幹線耐震補強工事（１９５百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ② マイ・タイムラインの作成と活用した避難行動につなげるための支援に係る予算を確保すること。	・ マイ・タイムラインの作成については、地域の状況や要望等に合わせ、て内容や時間など柔軟に対応するなど、住民のニーズを踏まえた効果的な作成支援に一層力を入れていく。その際、愛知工業大学やNPO法人愛知ネットとの連携により実施していく。 ・ 多様な防災啓発・防災教育を展開し、豊田市災害対策推進計画の目標値である死者数ゼロを達成するために、地域住民による共助の取組を促進する。 （地域振興部 防災対策課）	・ 防災啓発費 （１６百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ③ 犯罪抑止につながる防犯カメラ設置の拡大と、自主防犯活動団体と連携した防犯パトロールを維持継続する予算を確保すること。	・ 防犯カメラについては、自治区等を対象にした防犯カメラの新設、更新、移設に要する経費への補助制度を引き続き実施し、設置拡大に努めていく。 ・ 警察活動を補完する重要な役割を担う防犯パトロールについては、民間警備会社による昼夜の巡回に加え、新たに日中の特殊詐欺被害防止巡回を実施していく。また、警察官ＯＢによる青色防犯パトロールを昼間に実施し、自主防犯活動団体の活動を側面から支援していく。 (地域振興部 交通安全防犯課)	・ 防犯設備整備費補助金 (４／５・１／２)(１５百万円) ・ 犯罪抑止活動費 (７４百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ④ 交通事故抑止対策のため、事故実態を踏まえた交通安全施設の整備や高齢者等の交通事故抑止対策、交通安全教育に係る予算を確保すること。	・ 自治区等からの申請に基づき、緊急性や重要性を考慮した交通安全施設整備を行うとともに、交通事故多発危険交差点や重大事故発生箇所等については、再発防止に向けた迅速な対応に努めていく。 ・ 高齢者の交通事故防止対策については、高齢者交通安全防犯世帯訪問や高齢者運転技術講習会を継続して実施する。また、高齢ドライバーの事故抑制を図るため、交付実績や効果を踏まえながら、引き続き後付け安全運転支援装置設置費補助を実施していく。 ・ 交通安全学習センターにおいて、幼児から高齢者まで心身の発達段階やライフステージに応じた、段階的かつ体系的な交通安全教育を継続的に実施していくほか、自転車安全利用意識向上につなげるため、自転車安全利用講習会を引き続き開催する。 （地域振興部 交通安全防犯課）	・ 事故防止対策費（１４２百万円） ・ 交通安全教育費（１１百万円） ・ 安全教育費（２百万円） ・ 後付け安全運転支援装置設置費補助金（９／１０）（７百万円） ・ 交通安全学習センター費（２１３百万円） ・ 自転車安全教育費（２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ⑤ 複雑多様化する特殊詐欺などの動向を捉えた防犯対策のための予算を確保すること。	・ 豊田警察署及び足助警察署との良好な連絡体制を維持し、犯罪情報の収集、市民への迅速な情報提供に努める。 ・ 主に住宅対象侵入盗対策や自動車関連窃盗対策として実施している地域安全巡回業務の内容を一部見直し、特殊詐欺被害防止巡回として、無人のＡＴＭ設置施設などへの巡回を新たに追加する。 ・ 引き続き、高齢者交通安全防犯世帯訪問事業により特殊詐欺被害防止啓発を進めていくとともに、前兆電話が確認された場合や被害が発生した場合は、迅速に緊急メールとよた、市ホームページ、防災行政無線、防災ラジオなどで注意喚起を行っていく。 （地域振興部 交通安全防犯課）	・ 犯罪抑止活動費 （７４百万円） ・ 交通安全教育費 （１１百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民が安全で安心できるまちづくりの推進 【要望内容】 ⑥ 愛知県に対して、浄水地区、豊南東地区への交番新規設置及び駐在所の存続を働き掛けること。	・愛知県警察では、犯罪や交通事故などの治安情勢、人口、地理的条件などの地域情勢を考慮して、交番等の整備を進めているため、愛知県警察本部長あてに「警察力強化等に関する要望書」を提出し、社会基盤整備などによる地域事情の変化が著しい地域などへの交番設置など、警察力強化を要望していく。 （地域振興部 交通安全防犯課）	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実 【要望内容】 ① 救急救命士・救急隊員の着実な育成等と、医療機関との連携により、救急活動能力の向上や高度な救急救命処置が可能な搬送体制を構築するための予算を確保すること。	・ 救急活動能力を向上するため、気管挿管や薬剤投与等の処置を行うことができる救急救命士の育成のほか、医療機関でのドクターカー研修や病院実習、症例検討会により救急救命士及び救急隊員を継続的に育成していく。 ・ 高度な救急救命処置が可能な搬送体制を構築するため、高規格救急自動車、心電図等の傷病者情報を救急車から病院へ送信する伝送システム及び救急隊・消防隊用のＡＥＤ等を更新していくほか、より確実な気管挿管を行うため、モニター画面一体型の喉頭鏡を新たに整備していく。 （消防本部 総務課、警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課）	・ 救急高度化推進費（２７百万円） ・ 消防活動企画運営費（うち、学会等参加費用）（１百万円） ・ 職員研修費（うち、救急隊員育成費用）（１百万円） ・ 消防車両整備費（うち、高規格救急自動車及び高度救命用資機材）（１８９百万円） ・ 消防機械整備費（うち、伝送システム、救命処置訓練人形）（５百万円） ・ 救急活動費（うち、ＡＥＤ等更新費用）（１３百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実 【要望内容】 ② 消防施設・資機材・消防車両の整備充実に加え、先進技術の活用など消防対応力の充実強化を図るための予算を確保すること。	・消防施設については、女性職員が就業できる環境を整えるため、分署において必要な改修を進めていく。また、耐震性貯水槽及び消火栓を整備していくほか、消防救急デジタル無線や高機能消防指令システム等の適正な維持、管理により、複雑多様化する災害に安全・確実かつ迅速に対応していく。 ・資機材については、衝突防止センサーやズームカメラ等の新たな機能を備えた消防用ドローンを整備するほか、隊員が装備する簡易型化学防護服、水難救助用のウェットスーツ等を計画的に更新していく。 ・消防車両については、倉庫や工場火災などに対応する化学消防ポンプ自動車やリモートコントロール式の消火・排煙車等を更新していく。 ・先進技術の活用等については、スマートフォンを利用した動画による１１９番通報システムやズームカメラを備えた新たな消防用ドローンの映像通信機能を活用し、情報収集能力を向上させていく。また、多様な１１９番通報に対応するため、Net 119やメール119などを適切に維持管理していく。 （消防本部 総務課、警防救急課、指令課、 北・中・南・足助消防署管理課）	・消防庁舎営繕費 （２８百万円） ・耐震性貯水槽整備費 （７９百万円） ・消火栓整備費 （３２百万円） ・通信機器管理費（５６３百万円） ・消防本部運営費（うち、消防用ドローン保険） （１百万円） ・消防機械整備費（うち、消防用ドローン機体） （５百万円） ・救助・警防活動費（４９百万円） ・消防車両整備費（うち、高規格救急自動車及び高度救命用資機材を除く消防車両） （２６８百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実 【要望内容】 ③ A E D等を活用し、自ら応急手当のできる市民の増加を推進し、救命率の向上を図るための予算を確保すること。	・応急手当ができる市民の増加に向け、講習用資器材を充実させるとともに、受講機会の増加に適切に対応するため、応急手当インストラクターを活用していく。また、救命の連鎖の担い手を拡大するため、小中学生への応急手当講習を引き続き実施していく。 ・「まちかど救急ステーション」の登録を促進し、市民等によるA E Dを活用した応急手当ができる環境を整えていく。 (消防本部 警防救急課、北・中・南・足助消防署管理課)	・救急高度化推進費（うち、警防救急課分を除く）（６百万円） ・消防活動企画運営費（うち、まちかど救急ステーション消耗品等）（１百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実 【要望内容】 ④ 地域防災力の向上のため、消防団員確保に向けた取組と消防団装備等の充実を図るための予算を確保すること。	・消防団員確保に向けた取組については、操法大会や観閲式などの行事の開催方法を見直すことで団員の負担軽減を図る。また、報酬等の見直しや新たに車両総重量３．５トン以上の車両を保有する分団の団員を対象とした準中型免許取得費用の補助制度などを導入する。 ・とよたおいでんバスのラッピングやＳＮＳ等の活用、イベントへの参加や市内の大学へ出向いての消防団のＰＲ活動を行い、若い世代の加入促進につなげていく。 ・消防団装備等の充実については、車両、防火衣、防寒服、折りたたみ担架、消防用ホースなどを整備していく。 （消防本部 総務課）	・警防技術大会開催費（１百万円） ・任免式開催費（１百万円） ・消防団員報酬（１２７百万円） ・準中型自動車免許取得費補助金（２百万円） ・消防団員厚生費（２百万円） ・消防団運営費（１６百万円） ・消防団消防機械整備費（３５百万円） ・消防団充実強化推進費（４６百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ① 上下水道施設の耐震化、ストックマネジメント計画に基づく更新事業を確実に進めるための予算を確保すること。	(水道事業) ・「豊田市水道ストックマネジメント計画」に基づき、以下の取組を行っていく。 ・「豊田市水道ストックマネジメント計画」をＡＩ劣化予測診断結果で補完した優先順位に基づき、経年管の整備を実施していく。 ・漏水多発地区・路線については、優先的に布設替えしていく。 ・水道施設の老朽化による設備故障等の予防保全対策として施設改良事業や設備更新事業を着実に実施していく。 ・「豊田市新水道耐震化プラン」に基づき、以下の取組を行っていく。 ・主要な配水場などの水道施設を結ぶ基幹管路を強化するとともに、引き続き医療機関等の重要給水施設への管路を優先的に耐震管へ布設替えしていく。 ・主要水道施設の耐震診断を実施するとともに、耐震性を有していない施設においては、耐震補強や更新を実施していく。 ・自然災害により大規模な断水が発生した場合、市民に飲料水を速やかに提供するため、既存の災害拠点給水施設の改修を行うとともに、必要に応じて飲料用循環式耐震性貯水槽を設置していく。 (上下水道局 企画課、水道整備課、水道維持課、上水運用センター) (次ページへ続く)	・水道ストックマネジメント関連事業（管路）（１，２８２百万円） ・水道ストックマネジメント関連事業（施設）（１，４１５百万円） ・管路耐震化事業（４７３百万円） ・施設耐震化事業（６８３百万円） ・飲料用循環式耐震性貯水槽設置工事（２４百万円） ・災害拠点給水施設改修（４０百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
	(下水道事業) ・公共下水道管路の耐震化・老朽化対策は、国の防災・安全交付金制度等を活用し「豊田市下水道総合地震対策計画」及び「豊田市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、着実に実施していく。 ・下水道管路施設等については、「豊田市下水道ストックマネジメント計画」に基づき、予防保全型維持管理手法により、計画的な点検、調査、改築等を適切かつ効率的に実施していく。 (上下水道局 下水道建設課、下水道施設課)	・中部３号ほか雨水幹線耐震補強工事（４２５百万円） ・下水道管路改築工事（汚水）（９７百万円） ・雨水管路改築更新実施設計委託（２２百万円） ・下水道管路施設包括的維持管理業務委託（２７４百万円） ・下水道施設更新工事（１８百万円） ・下水道施設健全度調査委託（５百万円） 【参考事項】国の補正予算に伴う令和３年度対応予算 ・中部１号雨水幹線耐震補強工事（１９５百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ② 安全安心な水道水を安定供給する施設体制並びに施設管理維持をする人材育成とスキル向上を図るための予算を確保すること。	(水道事業) ・水質検査の実施体制や技術的能力の適格性を示す水道水質検査優良試験所規範（水道ＧＬＰ）の認定を更新し、水質検査スキルの維持向上を図るとともに、水質検査機器の計画的な更新を実施していく。 ・施設管理維持をする職員の人材育成とスキル向上を図るために、業務に必要な資格の取得や外部研修への積極的な参加を進めていく。 (上下水道局 上水運用センター)	・水道ＧＬＰ更新手数料等 (１百万円) ・水道検査機器の更新 (３１百万円) ・資格取得、外部研修費用等 (１百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ③ 未普及解消アクションプランに基づき合併処理浄化槽の普及促進に当たっての予算を確保すること。	(下水道事業) ・下水道計画区域以外での汚水処理の未普及解消に向けては、単独処理浄化槽や汲取りトイレから合併処理浄化槽への転換促進が必要である。国県補助金を最大限活用し、引き続き必要な予算を確保していく。 ・水道水源における水質を保全するために、水源地域（取水口上流地域）での合併処理浄化槽への転換に対し、水道水源保全基金を活用した上乗せ補助を引き続き実施していく。 (上下水道局 下水道施設課、総務課)	・合併処理浄化槽設置費補助金 (一般会計 １４１百万円) ・水質保全対策事業補助金 (特別会計 ５百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【地域生活部会】 【要望事項】 市民生活を支える上下水道施設の基盤強化 【要望内容】 ④ 日常の適正な施設運用及び施設管理を実施するためのDXを活用する予算を確保すること。	(上下水道局共通) ・上下水道事業における施設管理の効率化を図るため、下水道事業においては令和元年６月から「下水道事業施設台帳システム」を、水道事業においては令和２年４月から「水道事業施設台帳システム」の運用を開始している。 (上下水道局 企画課) (水道事業) ・日常の適正な水道施設の運用、管理及び水道水の水質検査を実施するために、デジタル化された施設台帳、施設点検結果、水質検査結果等の情報の有効活用を進めていく。 (上下水道局 上水運用センター) (下水道事業) ・下水道管路施設については、平成３０年度より開始した下水道管路施設包括的維持管理業務委託の中で、クラウドを活用した維持管理システムを導入し、調査結果や修繕履歴を登録・蓄積している。 ・下水道施設については、クラウドを活用した遠方監視システムや設備台帳システムを導入し、雨水ポンプ場の運転管理（直営）や污水处理施設包括的維持管理業務委託の中で、施設の運転管理や日常の維持管理データ等を登録・蓄積している。 ・上記システムのデータを分析し、「豊田市下水道ストックマネジメント計画」に反映し、修繕・改築を進めていく。 (上下水道局 下水道施設課)	・水道施設クラウドシステム管理費 (１８百万円) ・下水道管路施設包括的維持管理業務委託 (２７４百万円) ・下水道污水处理施設包括的維持管理業務委託 (３０５百万円) ・遠方監視・設備台帳システム利用料 (４百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 博物館整備に向けた取組の推進 【要望内容】 ① 博物館整備を着実に進めるため、新築工事を実施する予算を確保すること。	・（仮称）豊田市博物館整備については、令和３年度から令和５年度で、新築工事および展示収蔵環境の製作を進める。 ・あわせて、令和４年度から令和５年度で、車両進入路工事（市道神田２号線）や施設等へのサイン設置等、周辺環境の整備を進める。 ・博物館整備に関しては、現在採択されている国土交通省および環境省の補助金を着実に確保すると共に、新築工事や開館後の活動実施等に向けた新たな財源確保についても検討を進める。 （生涯活躍部 文化財課、文化振興課）	・博物館費 （３，４２５百万円） ・文化ゾーン施設整備費 （２６百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 博物館整備に向けた取組の推進 【要望内容】 ② 文化ゾーンのまちづくり推進の予算を確保すること。	・文化ゾーン全体の魅力を高めるため、枝下緑地等の既存資源を活用した文化イベント等の開催のほか、博物館開館に合わせ、まちなかと文化ゾーンとの回遊性を高めるサインの設置などの検討を進める。 (生涯活躍部 文化振興課)	・文化ゾーン施設整備費 (２６百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 生涯スポーツのまちづくりの推進 【要望内容】 ① 「生涯スポーツのまち」を実現するために拠点となる地域施設（小中学校の体育館・グラウンド等）の整備改修予算を確保すること。	・生涯スポーツの拠点となる地域施設については、市営の体育館や運動広場を二ーズに合わせて地域にバランスよく配置しているほか、民間スポーツ施設や学校施設、他の公共施設などとも連携し、地域スポーツの推進を図っている。 ・とりわけ小中学校の体育館については、各地域に配置され、地域スポーツの推進に有効であることから、体育館の老朽化対策に合わせて必要な整備改修を実施している。 ・今後も、地域住民が安全で気軽にスポーツをするための環境整備を引き続き実施していく。 （生涯活躍部 生涯スポーツ推進課、教育部 学校づくり推進課）	・学校開放費 （４８百万円） ・諸宮繕工事（うち、体育館・グラウンド修繕料） （７２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 生涯スポーツのまちづくりの推進 【要望内容】 ② スポーツに親しむ市民が増え、関心の高まりとともに、身近な「わがまちアスリート」の応援やトップアスリート「夢の教室授業」実施のための予算を確保すること。	・東京２０２０オリンピック・パラリンピック競技大会及び北京２０２２オリンピック・パラリンピック冬季競技大会で活躍したトップアスリートを始めとした「わがまちアスリート」を、引き続き市民一丸となって応援するとともに、「夢の教室」を産学官連携により継続して実施することで、市民のスポーツに対する関心を高めていく。 （生涯活躍部 生涯スポーツ推進課）	・トップアスリート・スポーツチーム応援費 （２百万円） ・夢の教室開催費 （９百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 大規模スポーツイベントを生かしたまちづくりの推進 【要望内容】 ① 世界ラリー選手権等の大規模スポーツイベントの開催を契機に、スポーツを楽しむ機会の充実とアフターコロナを見据えた、地域の活性化につなげるための予算を確保すること。	・ T G R ラリーチャレンジや世界ラリー選手権などのラリーイベントの開催に向け、「豊田市ラリーをいかしたまちづくり実行委員会」（令和３年６月１５日設立）を中心とした機運の醸成と地域活性化に係る取組を実施する。 ・ スポーツイベントの開催に際しては、スポーツボランティアとよたの活動の場の創出や、宿泊・飲食事業者への効果を高める取組など、多くの市民を巻き込んだ仕組みづくりを確立するよう努める。 (生涯活躍部 スポーツ戦略課)	・ スポーツボランティア推進費 (２百万円) ・ Jリーグホームタウン推進費 (８百万円) ・ 世界ラリー選手権開催推進費 (３２９百万円) ・ スポーツツーリズム推進費 (１４百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 保育士が働きやすい環境の整備 【要望内容】 ① ＩＣＴ（保育業務支援システム）の全園導入に伴う運用整備によって、保育士の働きやすい環境の充実に向けた予算を確保すること。	・令和３年度は公立こども園全園にて順次運用を開始し、登降園管理機能を始めとした削減効果が高いと見込まれる事務を中心に機能を活用している。 ・令和４年度は、公立こども園における現金の取扱い廃止に向けて、食数管理機能や請求管理機能を活用し、更なる事務負担軽減を進めていく。 （子ども部 保育課）	・ＩＣＴ推進費 （５２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 保育士が働きやすい環境の整備 【要望内容】 ② こども園の洋式トイレの整備や手洗い設備の温水化などの予算を確保すること。	・こども園のトイレ再整備については、幼児用便器の洋式化率の向上とトイレ環境の改善を目指し、洋式化率８０％未満の２７園を対象にトイレの再整備を継続していく。 ・令和４年度は、駒場こども園始め５園について改修工事を、高美こども園始め５園について改修設計を実施する。 ・手洗い設備の温水化については、対応が必要なこども園３７園のうち、２４園を令和３年度に実施した。令和４年度は残りの１３園について実施する。 （子ども部 保育課）	・トイレ改修費 （１３９百万円） ・諸営繕工事 （１２２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ① 学校の洋式トイレ再整備や学校施設の保全改修・修繕などの予算を確保すること。	・学校のトイレ再整備については、保全改修で行うトイレ整備に加え、単独のトイレ整備を実施することで、より事業を加速化させており、令和２年度末で整備率が６０．４％となっている。 ・トイレ再整備は、学校からのニーズが非常に高いことから、他の事業との優先順位付けを的確に図りながら、早期完了を目指して進めていく。 ・保全改修は、対象校が残り８校となり、令和４年度にすべて完了する予定をしている。 ・学校施設の保全改修や修繕などについては、児童生徒の安全・安心で快適な教育環境に直結する事業であることから、最優先での予算確保を目指していく。 （教育部 学校づくり推進課）	・小・中学校保全改修費 トイレ再整備事業（１００百万円） 設計 小学校１５校、中学校５校 【参考事項】 令和３年度３月補正予算 ・小・中学校保全改修費 保全改修事業（１，８５０百万円） 工事 小学校７校、中学校１校 トイレ再整備事業（７２４百万円） 工事 小学校９校、中学校５校

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ② 通学路等の危険箇所を適宜点検し、安全な環境整備の予算を確保すること。	・ 通学路の安全を継続的に確保するため、学校では、年１回４月を中心に登下校の時間帯に通学路を実際に通行し、道路事情や交通量、歩道、信号機、安全のみどり線や交通安全施設の整備状況等を、児童生徒の目線から総合的に点検を行っている。 ・ 通学路整備については、学校からの通学路整備要望を基に、豊田市通学路整備推進会議において、国・県・市・警察等の関係機関が連携を図り、緊急性や必要性、交通状況等を考慮して進めている。 ・ 例年の取組に加えて、令和３年６月に発生した千葉県八街市における下校中の児童の交通死亡事故を受けて、緊急的に危険箇所調査を実施し、同年１０月に対策案を取りまとめた。対策の早期完了を目指して今年度に引き続き取組を進めていく。 （教育部 学校教育課、建設部 土木課、 地域振興部 交通安全防犯課）	・ 通学路整備費 （５０百万円） ・ 歩道設置費 （３７９百万円） ・ 市道改良費１ （３５０百万円） ・ 市道改良費２ （３４７百万円） ・ 事故防止対策費（１４２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ③ 教職員の多忙化解消の推進と部活動の健全な運営の両立を図るための予算を確保すること。	・教職員の多忙化解消については、令和３年３月に策定した、時間外在校等時間の削減目標を定めた「(改訂) 豊田市教職員多忙化解消プラン(令和３年度～令和５年度)」に沿って、取組を促進していく。 ・教員の多忙化の要因の一つとして「部活動」が課題となっており、多忙化解消プランの柱の１つに位置付け、部活動指導に関わる負担の軽減を図っていく。 ・令和４年度は、令和３年度に引き続き、逢妻中、竜神中、保見中、小原中の４校の地域学校共働本部を活用した地域部活動のモデル事業を継続するとともに、新たにモデル校を増やして取組を進めていく予定である。 ・併せて、部活動指導員の配置が平日の教員の負担軽減に効果があることから、部活動指導員についても募集方法を工夫するなど増員を目指していく。 (教育部 学校教育課)	・共働の学校づくり推進費管理運営費 (５２百万円) ・人件費(うち、部活動指導員) (１３百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【教育社会部会】 【要望事項】 学校教育環境の整備 【要望内容】 ④ 子どもの読書活動を進めるための予算を確保すること。	・令和元年度に更新した図書システムは小学校の児童でも簡単に操作でき、図書館の本の貸出や返却がしやすく、自発的な読書活動が進めやすくなっている。また、個人や学級、全校の読書傾向や読書履歴を把握することができ、読書活動推進に活用されている。また、全校に配置している学校図書館司書が交流機能（図書館こみゅ）を使って授業支援などの情報交換を行っている。 ・学校図書館司書を対象とした研修を年８回計画し、図書に親しむ児童生徒の育成及び授業等における図書館の利用促進を目指している。 ・全校の図書館主任を対象とした研修では、県外から講師を招き、図書館の本を生かした教科学習の研修を行っている。 ・市教育研究会図書館部会と連携して読書感想画コンクールを実施し、優秀作品を市中央図書館に展示して、読書の啓発活動につなげている。 ・これらの取組を継続するための予算を確保していく。 （教育部 学校教育課）	・学校図書館情報電子化事業費 （１１百万円） ・学校情報化推進費（うち、図書管理システム賃貸借料）（４百万円） ・学校図書館司書配置費 （１百万円） ・人件費（うち、学校図書館司書） （４３百万円） ・教職員研修費（１８百万円） ・児童生徒対象行事費（２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 新型コロナウイルスをはじめとする感染予防対策の強化及びポストコロナを見据えた健康づくりの推進 【要望内容】 ① ワクチン接種が進められる中、必要に応じて迅速、柔軟に対応する体制を整備し、着実な接種の実施につなげる予算を確保すること。	・新型コロナウイルスワクチン接種については、１・２回目接種に続き、３回目接種を実施していく。 ・３回目接種にあたっては、１・２回目接種同様に医療機関や企業など様々な関係者との協力体制や庁内推進体制を構築し、市が実施する集団接種や医療機関が実施する個別接種等を組み合わせ、希望する市民への接種を着実に実施していく。 （保健部 感染症予防課）	・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業費（２，２４８百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 新型コロナウイルスをはじめとする感染予防対策の強化及びポストコロナを見据えた健康づくりの推進 【要望内容】 ② 濃厚接触者、感染疑い者への検査体制の強化と感染患者へ適切な支援等を行い、感染拡大を防止するための予算を確保すること。	・現状、発熱等がある感染疑い者や濃厚接触者については、地域のかかりつけ医や保健所において検査を実施している。引き続き、必要な市民が検査を受けることができる体制を適切に確保していく。 ・患者が安心して自宅療養できるように、パルスオキシメーターの貸出しや配食サービスを提供している。引き続き、国・県の補助金等を活用しながら、適切な医療・サービスの提供体制を整備していく。 (保健部 感染症予防課)	・新型コロナウイルス感染症対策費 (３１１百万円) ・自宅療養者配食サービス事業費 (６２百万円) ・自宅療養者等医療提供事業補助金 (２４百万円) ・自宅療養者等健康管理事業 (２７百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 新型コロナウイルスをはじめとする感染予防対策の強化及びポストコロナを見据えた健康づくりの推進 【要望内容】 ③ 三密を回避し、ソーシャルディスタンスを保った中での健康づくり活動を活性化していくための予算を確保すること。	・元気アップ教室終了後の自主活動グループに対しては、令和３年度に全てのグループに対して保健師等の専門職を派遣し、感染予防の指導を行い活動の継続を支援してきた。令和４年度においても必要に応じて専門職を派遣するなどの支援を実施する。 ・コミュニティ会議や自治区、交流館等で開催される健康づくり事業に対しては、地区担当保健師を中心にヘルスサポートリーダーとともに、新しい生活様式を取り入れた地域の健康づくり活動を支援していく。 (保健部 地域保健課) ・令和３年度からスタートさせた「ずっと元気！プロジェクト」について、参加者拡大や社会参加プログラムを提供していただける事業者の増加を図るとともに、プログラムの改善といった内容の充実についても、プロジェクト受託者と協力して取り組んでいく。 (企画政策部 未来都市推進課)	・地域介護予防活動支援事業費 (５百万円) ・元気アップ事業費 (３百万円) ・きらきらウエルネス推進費 (４百万円) ・次世代社会システム実証推進費 (１０８百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 循環型社会の実現及びゼロ カーボン実現に向けた取組 の推進 【要望内容】 ① エネルギーの地産地消 等、産業や市民生活の中での 脱炭素化社会に向けた予算 を確保すること。	・暮らしの脱炭素化に向けて、太陽光発電システム、蓄電池及びＨＥＭ Ｓの３機器を一体的に導入したスマートハウスや、蓄電池、高効率給 湯器のエネファームに対し、引き続き補助制度を継続する。 ・環境性能に優れた次世代自動車の普及拡大に向け、プラグインハイブ リッド車、電気自動車及び燃料電池車（ＦＣＶ）の車両購入費補助や 充電設備の導入補助を継続する。 （次ページへ続く）	・家庭用燃料電池設置費補助金 （６百万円） ・次世代自動車普及促進費補助金 （２９百万円） ・事業者向次世代自動車普及促進 費補助金（９百万円） ・家庭用蓄電池設置費補助金 （２７百万円） ・次世代自動車普及促進費 （１百万円） ・スマートハウス普及促進費 （１百万円） ・スマートハウス化設備設置費等 補助金（２１百万円） ・外部給電装置設置費補助金 （１５百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
	・エネルギー地産地消の仕組みづくりに向け、「豊田市つながる社会実証推進協議会」等のプラットフォームを活用し、産官学の連携によりエネルギー地産地消の仕組みづくりなどの実証実験を実施すると共に、国が公募する脱炭素先行地域への応募に向け、協議会会員との連携を図りながら、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を推進する。 ・ゼロカーボンシティの実現には、産業部門の脱炭素化を更に促進する必要があるため、製造業の中小企業のCO2排出量の削減に向け、相談窓口の開設や新エネルギー設備の導入等の新たな支援を実施していく。 （環境部 環境政策課、企画政策部 未来都市推進課、 産業部 産業労働課、次世代産業課）	・次世代エネルギーシステム推進費（３５百万円） ・ものづくり創造拠点運営費（うち、カーボンニュートラル相談窓口業務委託）（３百万円） ・カーボンニュートラル創エネ促進補助金（５００百万円） ・企業立地奨励補助金（８０７百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 循環型社会の実現及びゼロ カーボン実現に向けた取組 の推進 【要望内容】 ② 市民、事業者が循環型社会への意識を向上させ、ごみの減量やリサイクル、廃棄物適正処理へ向けた対応を強化するための予算を確保すること。	・ごみの減量を推進するため、フードドライブ、手前どり運動等の食品ロスの削減に係る取組やダンボールコンポストの利用促進の取組を実施する。 ・資源のリサイクルを推進するため、「資源・ごみ分別アプリ」等を活用し分別意識の向上を図るとともに、リサイクルステーションや集団回収において資源を回収し再資源化を促進する。 ・産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者や処理事業者を対象とした各種講習会を実施する。 ・廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者への戸別訪問指導事業を実施する。 (環境部 ごみ減量推進課、廃棄物対策課)	・ごみ減量啓発費 (４百万円) ・ごみ減量共働推進費 (１百万円) ・分別収集啓発費 (６百万円) ・集団回収報奨金 (２６百万円) ・リサイクルステーション運営費 (１７４百万円) ・容器包装リサイクル協会費 (２百万円) ・集団回収事業補助金 (５百万円) ・事務費（廃棄物対策課) (１１百万円) ・不適正処理産業廃棄物対策費 (１百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 循環型社会の実現及びゼロカーボン実現に向けた取組の推進 【要望内容】 ③ 安全安心なごみ収集、処理を推進するため、効率的な収集体制と施設運営を実施するための予算を確保すること。	・引き続き、安全安心で効率的な収集・処理体制を推進するとともに、グリーン電力証書の販売など、ゼロカーボン社会の実現に向けた施設運営を行う。 （環境部 清掃施設課、清掃業務課）	・ 渡刈クリーンセンター管理運営費 （２，１３０百万円） ・ 藤岡プラント管理運営費 （４５５百万円） ・ グリーン・クリーンふじの丘施設管理費 （２８４百万円） ・ 勘八不燃物処分場施設管理費 （７２百万円） ・ プラスチック資源化施設管理運営費 （９２百万円） ・ 緑のリサイクルセンター管理運営費 （１３４百万円） ・ 逢妻衛生プラント施設管理費 （３３１百万円） ・ 砂川衛生プラント施設管理費 （２７２百万円） ・ ごみ収集事業費（９５０百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 在宅医療人材の確保・育成と在宅療養の推進 【要望内容】 ① 在宅医療・福祉連携推進計画に基づき、在宅医療・療養を担う専門職の確保・育成に係る予算を確保すること。	・ 豊田市・藤田医科大学連携地域医療学寄附講座や在宅相談ステーションの取組等により在宅医の確保・育成を行う。 ・ ロボットを活用した地域リハビリテーション医学の展開に関する寄附講座により、地域リハビリを推進する専門医の確保・育成を行う。 ・ 「豊田訪問看護師育成センター」で、新卒・新任訪問看護師の確保・育成のほか、現任訪問看護師のスキルアップを図る。 ・ 令和４年４月に開設予定の「豊田総合療法士育成センター」で、地域リハビリを推進する療法士のスキルアップ・育成を新たに行う。 ・ 多職種連携を目的とした相互理解を深める研修等により、在宅医療に携わる専門職全般のスキルアップを図る。 ・ 研修体系に基づいた計画的な研修等により、地域包括支援センター職員や介護支援専門員等のスキルアップを行う。 ・ 就職セミナー及び相談会を実施し就職につなげるほか、介護サービス事業所のマネジメント層である経営者や中核的人材に対する組織運営向上のための研修の実施により、介護人材の新規雇用と定着を図る。 ・ 現任介護職員研修の開催等により、介護職員としての基礎的な知識や技術のスキルアップを図る。 ・ 介護サービス事業所における資格取得のための研修受講費を補助することで人材の定着につなげ、サービスの質の向上を図る。 （福祉部 地域包括ケア企画課、高齢福祉課、介護保険課）	・ 豊田地域医療センター運営費負担金（６５０百万円） ・ 在宅医療・介護連携推進事業費（１９百万円） ・ 地域包括支援センター運営費（２百万円） ・ 介護人材確保事業費（１２百万円） ・ 介護保険関係研修受講料補助金（３百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 在宅医療人材の確保・育成と 在宅療養の推進 【要望内容】 ② 本人の望む在宅療養サービスを安定的に提供できる体制を整備するための予算を確保すること。	・平成３０年７月から着手している豊田地域医療センターの再整備工事について、令和４年１２月の整備完了を目指し進めている。 ・令和３年１１月に開設した豊田地域医療センターコミュニティプラザ（旧西棟）の１階に設置した「地域リハインノベーションセンター」を拠点として、ロボットなど先進技術を活用した地域リハビリテーションの展開を推進していく。 ・豊田みよしケアネットを活用して、在宅療養に携わる専門職間で情報共有を図り、効率的・効果的な在宅療養サービスを提供する。 ・豊田加茂医師会と連携した、在宅医療機器の共同利用やかかりつけ医バックアップ体制の構築により、２４時間３６５日安定したサービス提供を目指す。 ・わたしのノート（スタート編）を活用した意思決定支援の取組を推進し、患者本人が望む療養生活の選択・実現ができる環境や幸福寿命の延伸を目指す。 （福祉部 地域包括ケア企画課）	・豊田地域医療センター再整備費 （１，０６９百万円） ・豊田地域医療センター運営費負担金 （６５０百万円） ・在宅医療・介護連携推進費 （３百万円） ・在宅医療・介護連携推進事業費 （１９百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 障がい者や生活困窮者への支援体制の構築 【要望内容】 ① 障がい者とその家族への理解を深め、地域共生の実現に向けた支援を継続する予算を確保すること。	・地域共生社会の実現に向け、「心のバリアフリー推進講座」や「精神保健福祉地域普及講演会」を始めとした障がい理解・啓発に関する事業、また意思疎通支援等の各種事業を、「相互理解と意思疎通に関する行動計画（令和３年３月策定）」に沿って当事者や関係団体等と連携しながら推進していく。 （福祉部 障がい福祉課、保健部 保健支援課）	・障がい者理解・啓発促進事業費（１百万円） ・意思疎通支援費（１２百万円） ・精神保健予防対策費（３百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【環境福祉部会】 【要望事項】 障がい者や生活困窮者への支援体制の構築 【要望内容】 ② 生活困窮者が、社会の中で自立生活していくための支援を実施する予算を確保すること。	・生活困窮者支援においては、その課題を重症化させないために早期発見と早期対応を行うことが重要であることから、地域住民にとってより身近な窓口である旧市内支所の「福祉の相談窓口」や社会福祉協議会に配置している相談支援員と連携しアウトリーチ支援を含む相談体制の強化を図っている。 ・また、新型コロナウイルス感染症の長期化により増大した生活困窮者への対応を行うため、引き続き住居確保給付金の支給や就労支援、家計支援を実施する。 ・生活保護を必要とする世帯に対しては、法に基づき最低限度の生活が保障できるよう必要な扶助費を支給するとともに、自立に向けて健康的な生活を送ることができるように助言・指導する「健康管理支援事業」や日常生活で家計管理等が行えるように助言・指導する「家計改善支援事業」を実施する。 （福祉部 福祉総合相談課、生活福祉課）	・生活困窮者自立支援事業費 （９６百万円） ・重層的支援体制整備事業費 （１６０百万円） ・生活保護扶助費 （４，０６０百万円） ・健康管理支援事業 （２百万円） ・家計改善支援事業 （６百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 合意形成の図られたにぎわいと魅力ある都心づくりを 実践する環境の整備 【要望内容】 ① 都心環境計画の更なる見直し及び地元や広く市民を含めた合意形成を踏まえ、西口ペデストリアンデッキや豊田市駅東口駅前広場の再整備、また名鉄豊田市駅駅舎の安全性・利便性の向上等、公共空間再整備を推進する予算を確保すること。	・都心環境計画については、丁寧な周知・説明により市民合意形成を図るとともに、日常的なにぎわい空間の創出や安全・安心な歩行者動線の確保に向け、機能・規模の最適化を図りながら公共空間の再整備を進めていく。 ・また、名鉄豊田市駅の駅舎整備については、安全性・利便性の向上を図るため、鉄道事業者と協調して推進していく。 (都市整備部 都市整備課)	・都心環境計画整備費 (１９百万円) ・豊田市駅西口施設整備費 (３３７百万円) ・豊田市駅東口駅前広場整備費 (８５百万円) ・豊田市駅東口施設整備費 (１５９百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 合意形成の図られたにぎわいと魅力ある都心づくりを 実践する環境の整備 【要望内容】 ② とよしばや停車場線等における公民連携の合意形成による公共的空間活用の仕組みづくりを促進する予算を確保すること。	・ 豊田市駅東口まちなか広場（愛称：とよしば）及び「あそべるとよたプロジェクト」における広場では、民間の持つアイデアやプレイヤーの活力を取り入れ、地域との連携を踏まえつつ公共的空間の更なる活用を推進していく。 ・ また、県道豊田市停車場線では、都市再生推進法人と連携して都市利便増進協定に基づく占用特例等を活用し、公共的空間の魅力や賑わい創出につなげるための公民連携の取組を行っていく。 (産業部 商業観光課、都市整備部 都市整備課)	・ 商業活性化推進交付金 (2 9 百万円) ・ 公共空間活用推進費 (1 0 百万円) ・ 豊田市駅東口駅前広場整備費 (8 5 百万円) ・ 新豊田駅東口駅前広場整備費 (8 百万円) ・ 歩行空間活用費 (2 2 百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な道路ネットワークの構築等と公共交通の再編 【要望内容】 ① 安全で円滑に移動できる都市幹線道路ネットワークの構築を早期に図る予算を確保すること。	・本市では、活力と魅力を備えた持続可能な都市の実現を目指し、都市の骨格となる幹線道路ネットワークの整備を推進している。 ・令和２年度には、国道３０１号松平バイパス松平トンネルの開通を始め、豊田上郷スマートインターチェンジが供用し、地域の渋滞が緩和したほかＩＣへのアクセス性が向上した。 ・引き続き、国道１５５号豊田南バイパス・国道１５３号豊田北バイパスを始め、国道３０１号松平バイパスや国道４１９号四郷拡幅など、国、県と連携した事業を進めるほか、（都）高橋細谷線や（都）豊田刈谷線の４車線化整備を積極的に進めるなど、幹線道路ネットワークの早期構築に向け取り組んでいく。 （建設部 建設企画課、幹線道路推進課、街路課、土木課、都市整備部 区画整理支援課）	・ 特定道路建設費 （２，１４２百万円） ・ 特定道路改良促進費 （１３２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な道路ネットワークの構築等と公共交通の再編 【要望内容】 ② 公共施設や医療施設と鉄道駅などを連絡する道路ネットワークの充実を図るとともに渋滞解消、事故削減を図る安全安心な道路環境整備予算を確保すること。	・ 公共施設や医療施設、鉄道駅などの交通結節点等の各施設を結ぶ道路として、（都）西岡吉原線を始め（都）若林東西線、（都）浄水駅北通り線等の整備を推進していく。 ・ 地域交通の円滑化と地域の一体化による生活環境の向上を図るため、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業により、鉄道の高架化と周辺道路の整備を推進していく。 ・ これら幹線道路の整備により、生活道路へ流入する通過交通を排除し、幹線道路と生活道路の機能分化を図っていく。あわせて、安全性を考慮した生活道路の整備により、安全安心なまちづくりを進めていく。 (建設部 街路課、幹線道路推進課、土木課、地域建設課)	・ 街路建設費（３，８８３百万円） ・ 市道改良費１（３５０百万円） ・ 市道改良費２（３４７百万円） ・ 市道新設費（７４百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 安全で快適な道路ネットワークの構築等と公共交通の再編 【要望内容】 ③ 超高齢社会に対応するため、公共交通空白地区等に対する公共交通基本計画の見直しやネットワークの再編など、バス路線導入の検討、またタクシーや住民共助など新たな移動の仕組みの導入に係る予算を確保すること。	・「公共交通基本計画」に定められた「公共交通空白地区」への対応については、総合的な公共交通ネットワーク最適化の検証を行う中で、移動手段確保の必要性を検討していく。また、タクシーの活用や地域住民による共助的移動サービスの導入など、将来的に持続可能な移動手段についての支援策を検討していく。 （都市整備部 交通政策課）	・ 公共交通利用促進費 （ 7 9 百万円） ・ 地域内交通確保調査費 （ 2 百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 リニア中央新幹線を視野に入れた名鉄三河線の高架化複線化事業の推進 【要望内容】 ① 名鉄三河線若林駅付近の高架化事業を確実に推進する予算を確保すること。	・名鉄三河線若林駅付近の高架化については、令和３年度に着手した仮線路工事の進捗を図るとともに、鉄道と交差する道路の整備や本線高架工事に必要となる沿線の家屋調査など行い、事業の推進を図っていく。 （建設部 街路課）	・街路建設費（３，８８３百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 リニア中央新幹線を視野に入れた名鉄三河線の高架化複線化事業の推進 【要望内容】 ② 豊田市駅の安全の担保、利便性やにぎわい創出を図る駅舎整備を着実に推進する予算を確保すること。	・名鉄豊田市駅の駅舎整備については、安全性・利便性の向上を図るため、鉄道事業者と協調して推進していく。 (都市整備部 都市整備課、交通政策課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 リニア中央新幹線を視野に入れた名鉄三河線の高架化複線化事業の推進 【要望内容】 ③ 市内鉄道駅のバリアフリー化を推進する予算を確保すること。	・バリアフリー法の基本方針では、駅利用者が３，０００人／日以上の場合にバリアフリー化の義務が発生する。基準を満たしていない駅におけるエレベーター等の設置は鉄道事業者の任意であるが、今後も協議を継続していく。 （都市整備部 交通政策課）	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 豊田市運動公園への交通の 利便性の向上 【要望内容】 ① 豊田市運動公園への利便性を向上させる名鉄三河線を含む足助までの延伸を検討する予算とパークアンドライド駐車場を含めた公共交通等によるアクセスの充実を図る予算を確保すること。	・名鉄三河線の延伸整備とパークアンドライド用駐車場整備は、合わせて検討する必要があるが、事業性や整備費用など課題が非常に多い。地域や交通事業者の意見を聞きながら、今後の方向性を検討していく。 (都市整備部 交通政策課)	

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 豊田市運動公園への交通の 利便性の向上 【要望内容】 ② 運動公園利用者のアクセ ス道路の予算を確保するこ と。	・市街地から豊田市運動公園など公共施設へのアクセス機能を向上させる市北部の幹線道路網を形成するため、（都）豊田北バイパス（国道１５３号）の事業を国土交通省が、（都）豊田多治見線（国道４１９号）と（都）御船花本線（県道西中山越戸停車場線）の事業を愛知県が進めており、本市としても、引き続き、国、県事業を支援するとともに、関連する（都）猿投学校通り線の事業を進めていく。 ・これらの幹線道路の進捗に併せて、運動公園周辺の交通安全確保に向けた生活道路の整備を図っていく。 （建設部 建設企画課、幹線道路推進課、街路課、土木課）	・街路建設費（３，８８３百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 家族形成期世代や子育て世代の更なる定住促進と定住プロモーションの推進 【要望内容】 ① 施行中の土地区画整理事業の推進及び新たな市街地整備の展開に必要な予算を確保すること。	・多核ネットワーク型都市構造を確立し、居住誘導拠点における住宅・宅地確保を図るため、交通利便性が高い鉄道駅周辺において、昨今の人口減少や市を取り巻く社会構造の変化等を見据えながら、引き続き、土地区画整理事業及び新たな市街地整備に取り組んでいく。 ・土地区画整理事業施行中の土橋、寺部、花園、浄水、平戸橋、四郷駅周辺については、事業計画に基づき計画的な進捗を図っていく。 ・新たな市街地整備については、それぞれ地区の実情に合せたまちづくりの方向性の検討を地元組織と協力して取り組んでいく。 （都市整備部 市街地整備課、区画整理支援課、 企画政策部 土地利用調整課）	・土橋土地区画整理事業負担金 （１００百万円） ・土橋土地区画整理事業繰出金 （１０７百万円） ・寺部土地区画整理事業繰出金 （１２百万円） ・花園土地区画整理事業負担金 （５８０百万円） ・花園土地区画整理事業繰出金 （５６６百万円） ・若林駅周辺土地区画整理調査費 （１６百万円） ・土地利用対策調整費 （１０百万円） ・八草駅周辺土地利用調査費 （１４百万円） ・上豊田駅周辺土地利用調査費 （１２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 家族形成期世代や子育て世代の更なる定住促進と定住プロモーションの推進 【要望内容】 ② 住宅・宅地を積極的に確保するため、優良建築物等整備事業への支援を充実させるとともに定住施策に向けた規制緩和策など検討立案のための予算を確保すること。	・優良建築物等整備事業については、市街地再開発事業等補助金交付要綱に基づき、国や県と共に補助を行っていく。 ・「第３次豊田市住宅マスタープラン」において、「便利に暮らせる駅周辺居住の推進」を基本方針に掲げ、駅周辺への宅地供給や拠点地域核等への居住誘導を実現するため、土地の高度利用に係る規制緩和の二一ズの把握に努めていく。 （都市整備部 定住促進課、都市整備課）	・住宅マスタープラン推進費 （２百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 家族形成期世代や子育て世代の更なる定住促進と定住プロモーションの推進 【要望内容】 ③ 豊田の住みよさを市内外へ積極的に発信する定住プロモーション推進のための予算を確保すること。	・ ウィズコロナ、アフターコロナの新しい生活様式を見据えた住宅ニーズの高まりを踏まえ、インターネットやマスメディア等を活用し、幅広く効果的な定住プロモーション活動を引き続き積極的に進めていく。 （都市整備部 定住促進課）	・ 定住促進プロモーション費 （１３百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中核製材工場との相乗効果による林業及び木材利用の活性化推進 【要望内容】 ① 団地化等森林整備の基盤を整えるとともに林業従事者の働く環境の改善や、新たな技術導入等に必要な予算を確保すること。	・団地化等森林整備の基盤づくりについては、地域、森林組合及び市が共働して、引き続き地域森づくり会議による団地化を促進するとともに、先進技術を活用した森林調査及び測量等の導入を進め、森林整備の基盤づくりを図っていく。 ・林業従事者の働く環境の改善については、森林組合の新卒採用職員の林業大学校等への就学支援や団地化推進員の就業支援を継続するとともに、森林作業員に対する安全な伐倒等基礎技術研修の実施をはじめ必要な支援を講じていく。 ・新たな技術導入等については、森林保全を図りながら木材生産を活性化させるため、急傾斜地にも対応した新たな架線系システム（タワーヤードなど）の導入に向けた調整を森林組合と行っていく。 (産業部 森林課)	・森づくり推進組織育成費交付金 (２２百万円) ・団地化推進費 (８４百万円) ・新規就業者育成推進事業費補助金 (２３百万円) ・森づくり担い手育成支援費補助金 (２０百万円) ・人材育成費 (２百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中核製材工場との相乗効果による林業及び木材利用の活性化推進 【要望内容】 ② 地域材の活用を推進するため、地域材商品の開発や商業施設等の民間施設や公共施設での利用促進に必要な予算を確保すること。	・地域材商品の開発については、（一社）ウッディーラー豊田を中心に中核製材工場や既存製材所をはじめ地域材関係者との連携体制を強化し、商品開発のほか地域材の認知度向上や供給体制の構築を推進していく。 ・民間施設での地域材の利用促進については、引き続き木質化を図るテナント事業者等に対する経費の一部補助を行い、活用を促進することで、広く市民に木材の良さを発信していく。 ・公共施設における地域材の利用促進については、公共建築物の整備に係る庁内各課と連携し、コスト面や環境面をはじめ様々な観点から調整を行っていく。 （産業部 森林課、都市整備部 建築計画調整課）	・活動推進費 （５百万円） ・テナント店舗等木質化モデル創出事業補助金 （８百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中央公園を基軸とした公園 緑地整備の推進 【要望内容】 ① 中央公園第二期整備事業 を確実に進捗するための予 算及び人材を確保すること。	・ 中央公園第二期整備事業は、実施設計や用地取得など、当面の目標で ある先行整備区域について、着実に進められるよう努めていく。 (都市整備部 公園緑地つくる課)	・ 中央公園第二期整備費 (６３４百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中央公園を基軸とした公園 緑地整備の推進 【要望内容】 ② 更なる矢作川を生かした 賑わいづくりとして、新たに 創出された広大な河川敷を 含め矢作緑地全体を利活用 した矢作川水辺プロジェク トを推進するための予算を 確保すること。	・矢作川を生かした賑わいづくりにおいては、矢作川の河川改修事業や中央公園第二期整備計画との連携を図るとともに、コアエリアでの民間活力を活用した取組や、矢作緑地全体の利活用計画の整理・検討などを行っていく。 (建設部 河川課、都市整備部 公園緑地つくる課、 公園緑地つかう課)	・矢作川改修促進費 (9 3 百万円) ・矢作川水辺プロジェクト費 (1 0 百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 中央公園を基軸とした公園 緑地整備の推進 【要望内容】 ③ 都市公園、緑道等の着実 な事業推進のための予算を 確保すること。	・快適な市民生活の環境確保に向けて、国庫補助金等を活用しながら、既存ストックの有効活用や社会変化による市民ニーズの変化に対応した、これからの公園の在り方等を検討し、公園再編も含め計画的に進めていく。 （都市整備部 公園緑地つくる課、市街地整備課）	・街区公園整備費（１１７百万円） ・緑地整備費（寺部１号緑地ほか） （５０百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 「強さ」と「しなやかさ」を備えた安全・安心な豊田市を実現する「地域強靱化」の推進 【要望内容】 ① 市民の生命・財産や地域産業を守るため、豊田市国土強靱化地域計画を効果的に推進し、平時・災害時を問わないインフラ整備を積極的に実施し、河川改修・都市施設及び農業用施設の防災・減災対策を推進するとともに、地域及び社会の重要な機能維持に努め、災害に強い地域づくりを実現する予算を確保すること。	・道路施設、河川施設及び農業用施設については、個別施設計画に基づく点検や計画的な修繕を着実に行うことで平時・災害時を問わない施設の適正な機能維持に努めていく。 （建設部 道路維持課、地域建設課、道路予防保全課、河川課、産業部 農地整備課） ・橋りょうについては、平成８年道路橋示方書より古い基準で設計された橋長１５ｍ以上の橋りょうのうち、緊急輸送道路等を跨ぐ重要橋りょうに対し、優先順位を付け計画的に耐震対策を進めていく。 （建設部 道路予防保全課） （次ページへ続く）	・道路等管理費 （９６７百万円） ・道路修繕費（１，６９７百万円） ・交通安全施設維持管理費 （２５６百万円） ・橋りょう修繕費（８４６百万円） ・河川等施設費 （２６３百万円） ・河川修繕費 （３８８百万円） ・排水路改良費 （４２４百万円） ・農業用施設管理費（４７百万円） ・農道整備費 （５５百万円） ・水路整備費 （６３百万円） ・橋りょう耐震対策費（１百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
	・「豊田市総合雨水対策マスタープラン」に基づき、河川改修や雨水貯留施設の整備などのハード対策を進め、防災減災対策に取り組んでいく。 (建設部 河川課) ・農業用施設の防災減災対策については、総合農地防災事業・農村地域防災減災事業として、幹線用水路、防災重点農業用ため池の整備を国営・県営事業で進めていく。 (産業部 農地整備課)	・河川改良費 (５２１百万円) ・流域貯留施設整備費 (９０百万円) ・矢作川総合第二期地区支援事業費 (負担金２６百万円) ・県営震災対策農業水利施設整備費 (枝下用水地区) (負担金７６百万円) ・防災ため池整備費 (負担金１７百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 「強さ」と「しなやかさ」を備えた安全・安心な豊田市を実現する「地域強靱化」の推進 【要望内容】 ② 早期災害復旧対策を図るため地籍調査の予算を確保すること。	・大規模災害後の早期復旧対策等に寄与する地籍調査を「第７次国土調査事業十箇年計画」に基づき計画的に進めるため、国の交付金確保に努める。 ・また、事業促進に向け、国から示された新たな調査手続の活用や効率的な調査手法に取り組んでいく。 （産業部 農地整備課）	・地籍調査費 （１９百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 ものづくり中小企業の支援強化 【要望内容】 ① ものづくり創造拠点SENTANを核として、既存企業の新事業展開やスタートアップによるイノベーション創出を促進するとともに、ものづくり人材育成を着実に推進する予算を確保すること。	・ものづくり創造拠点SENTANを核として、ベンチャー企業とのマッチングや、ピッチイベント、新製品・新技術の開発に対する補助制度等を継続的に実施し、ものづくり中小企業の新事業展開を支援していく。 ・令和３年度に発足した「次世代航空モビリティ協業ネットワーク」を軸に企業・団体間の協業の促進、実証実験の実施などのプロジェクトを進めるほか、更なる活動支援を行い、次世代航空モビリティの地域産業化を目指していく。 ・ものづくり人材の育成については、「ものづくりミライ塾」や、イノベーションセンターの人材育成事業「製造技術者育成プログラム」、「デジタルものづくりカレッジ」を継続して実施していく。 （産業部 次世代産業課）	・ものづくり創造拠点運営費 (７９百万円) ・新事業展開支援費 (２４百万円) ・ものづくり創造補助金 (２５百万円) ・次世代航空モビリティ産業化推進費 (２８百万円) ・イノベーションセンター運営費 (４３百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 本市農業の持続的な発展に向けた取組の推進 【要望内容】 ① 食糧の安定供給の重要性が再認識される中、本市の「食と農」の一層の推進を図るため、新たな担い手の確保や地産地食を支える機関連携の推進など、本市農業の持続的な発展に向けた予算を確保すること。	・ 農業者の生産性向上と所得向上を図り、強靱な農業を実践するため、引き続き高性能農業用機械等の導入を支援する。 ・ 農ライフ創生センターが運営する各種講座を通じて、農の楽しさを知ってもらうためのきっかけづくりに取り組んでいくほか、引き続き「担い手づくりコース」の運営により新たな担い手の確保及び育成を図るとともに、「桃・梨専門コース」の運営により本市のブランド農産物である桃・梨について若い担い手の確保及び育成を図っていく。 (産業部 農業振興課) ・ 「人・農地プラン」の実質化を通じて、各集落の担い手へ農地の集積・集約を推進し、営農の効率性を高め、持続可能な農業の実現を図っていく。 ・ 豊田市農産物ブランド化推進協議会や豊田市農産物直売所連絡協議会などによる各種ＰＲイベントの開催、ＳＮＳを使用した情報発信を充実し、地産地食の推進による市民の買い支え意識の醸成を図っていく。 (産業部 農政企画課)	・ 持続的経営体支援補助金 (１８百万円) ・ あいち型産地パワーアップ事業費補助金 (２１百万円) ・ 地域施設整備費補助金 (５百万円) ・ 山間地営農等振興費補助金 (９百万円) ・ 農業人材力強化総合支援費補助金 (２２百万円) ・ 新規就農者育成総合対策補助金 (６百万円) ・ 農ライフ創生センター費（運営費） (１９百万円) ・ 人・農地プラン推進費（１百万円） ・ 豊田地域農業活性化対策負担金 (３百万円) ・ 地産地食推進費 (５百万円) ・ 農産物直売所推進費（１百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 本市農業の持続的な発展に向けた取組の推進 【要望内容】 ② 鳥獣による農作物被害を低減し、営農意欲の維持・向上を図るための予算を確保すること。	・ 鳥獣による農作物被害の低減に向け、引き続き「環境整備対策」、「侵入防止対策」、「捕獲対策」の３つの取組を柱に取り組んでいく。また、より効果的に鳥獣害対策を推進するため、集落や猟友会を始めとする関係機関との連携を深め、集落獣害対策ベストマッチ事業等により、必要な人材の育成、情報の共有化を図り、鳥獣害に強い集落づくりを目指していく。 （産業部 農業振興課）	・ 有害鳥獣捕獲対策費（４２百万円） ・ 野生鳥獣被害防止対策事業補助金（５百万円） ・ 狩猟免許取得支援費補助金（１百万円） ・ 鳥獣害防止総合対策費負担金（２６百万円） ・ 有害鳥獣捕獲奨励補助金（５百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 人材確保と事業継続のための支援強化 【要望内容】 ① 地域産業の担い手の確保と、事業活動の基盤強化を支援するために、中小企業・小規模事業者に対して包括的な支援策を構築するとともに、必要な予算を確保すること。	・中小企業の経営力高度化を促進するため、人材育成、人材確保、販路開拓等に係る経費に加え、新たに外部人材活用に係るマッチング支援機関に対する経費の一部を補助していく。 （産業部 産業労働課）	・中小企業経営力高度化事業補助金 （２６百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 人材確保と事業継続のための支援強化 【要望内容】 ② 新たな事業展開や生産性の向上を図るための予算を確保すること。	・ 中小企業のＩＴ導入やデジタル変革（ＤＸ）の推進による新たな事業展開や生産性の向上を図るため、ＤＸセミナーやＩｏＴ体験講座、アドバイザー派遣事業等を継続実施するほか、新たにデジタル化を促進するプラットフォームを構築し、企業間のマッチングや交流会等を行っていく。 (産業部 次世代産業課) ・ デジタル機器の導入や、ソフトウェアの開発及び導入を引き続き支援し、デジタル化による生産性向上等を促進していく。 ・ 事業者の新事業展開や生産性向上を図る方策の１つとして、副業・兼業人材、長期インターン学生、プロボノなど、多様な外部の人材を自社の強みや目的に合わせて効果的に活用できるよう支援していく。 ・ 中小企業の経営力高度化を促進するため、人材育成、人材確保、販路開拓等に係る経費に加え、新たに外部人材活用に係るマッチング支援機関に対する経費の一部を補助していく。 (産業部 産業労働課)	・ イノベーションセンター運営費 (４３百万円) ・ デジタル化支援補助金 (３００百万円) ・ 人材マッチング支援費 (２１百万円) ・ 中小企業経営力高度化事業補助金 (２６百万円)

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 多様な人材の活躍に向けた働き方改革の推進 【要望内容】 ① 多様な人材が能力を発揮できる職場環境に向けた予算を確保すること。	・働き方改革に関する情報提供を行うとともに、自社の現状把握及び新たな取組を支援するため、「働き方改革アドバイザー・講師派遣制度」により、専門家を無料で派遣する。 ・働き方改革に取り組み、成果を上げた事業所を表彰する「はたらく人がイキイキ輝く事業所表彰制度」が、創設から１０周年目を迎えるにあたり、１００を超える過去受賞事業所の奏功事例の周知と、市内事業所の取組意欲を喚起するため、シンポジウム開催及び記念事例集の発行を行う。 （産業部 産業労働課）	・働き方改革推進費（アドバイザー派遣費）（１百万円） ・働き方改革推進費（啓発事業費）（５百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 多様な人材の活躍に向けた働き方改革の推進 【要望内容】 ② オンライン等を活用した人材育成支援の予算を確保すること。	・ オンラインや、対面とオンラインのハイブリッド型での人材育成セミナーなどを開催していく。 ・ 中小企業が取り組むオンライン等を活用した人材育成を支援していく。 (産業部 産業労働課)	・ 女性再就労支援費（５１百万円） ・ 中小企業経営力高度化事業補助金（２６百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 商業の活性化及び観光の産業化による賑わい創出の促進 【要望内容】 ① ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、多大な影響を受けた宿泊や飲食、物販など地域経済の活性化に向けた予算を確保すること。	・令和３年度は、宿泊事業者に対し、利用者が宿泊施設を利用した場合に利用料金の１／２を補助する「とよた夏割」「とよた宿割」を実施した。令和４年度は、ジブリパーク開業やＷＲＣなどの観光資源を生かし、引き続き宿泊事業者への支援を実施していく。 ・飲食店への支援としては、令和３年度実施の「ＷＥ ＬＯＶＥ とよた応援飲食券事業」の効果検証やキャッシュレス化の推進を踏まえ、キャッシュレスポイント還元事業を実施していく。 ・観光においては、「マイクロツーリズム」のニーズの高まりを踏まえ、市民や近隣市町村の住民に向けたプロモーションを展開していくほか、新型コロナウイルス感染症の動向及び市内の状況を見極めながら、必要な施策を検討していく。 （産業部 商業観光課）	・宿泊事業者等支援事業費 （１，０４０百万円） ・キャッシュレスポイント還元事業費 （１５６百万円） ・ツーリズムとよた補助金(定額) （１１３百万円） ・観光プロモーション費 （４百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 商業の活性化及び観光の産業化による賑わい創出の促進 【要望内容】 ② 観光基盤の整備により市外からの来訪を促進するための予算を確保すること。	・ A R看板の活用による観光情報の発信など、地域が主体となり継続的に運営が行える通年型の観光誘客事業を検討していく。 ・ 安全な観光施設に向け、枯木や倒木の恐れのある樹木を伐採し、老朽化が進む施設に関しては補修工事及び修繕を実施し、来訪者への憩いの場所としての整備を計画的に進めていく。 （産業部 商業観光課）	・ 観光プロモーション費 （４百万円） ・ 王滝溪谷観光施設費／施設整備費 （３９百万円） ・ 松平郷観光施設費／施設整備費 （２５百万円） ・ 猿投地区観光施設費／施設整備費 （１百万円）

豊田市議会自民クラブ議員団「令和４年度当初予算への要望（部会要望）」への回答

要望事項	要望事項に対する対応（担当課）	主な計画事業(令和４年度当初予算) その他参考事項
部会要望【産業建設部会】 【要望事項】 山村地域における支障木伐採事業の個別事業化 【要望内容】 ① 管理が不十分な森林による災害発生の危険性や、道路の通行障害などが山村地域の課題となっており、地域予算提案事業で支障木伐採事業を実施している。地域予算提案事業に占める伐採事業の割合が８０％を超える地区もあり、山村地域で重要な定住や高齢対策に予算を割けていない。支障木伐採事業を地域予算提案事業から切り離し、道路管理者等による個別事業に再編成し予算を確保すること。	・ 山村地域での支障木伐採事業について、定住対策事業や高齢福祉事業などとともに、予算を確保し取り組むことが出来るよう地域予算提案事業を見直す。 ・ 事業の実施に当たっては、地域との連絡調整も不可欠であるため、これまで通り支所が予算を持ち、実施していく。 (地域振興部 地域支援課及び関係支所)	